

大人との交流で、子どもの社会性の育成を 第6回 地区子育て懇談会

神崎市青少年育成市民会議では、7月7日、8日、31日の3日間、第6回地区子育て懇談会を開催しました。

地区の役員、市民会議役員、学校、PTA地区役員、地区の皆さんのご協力をいただいで熱心な話し合いがなされ、有意義な懇談会となりました。

今回の懇談会では、次の4つの柱で話し合いをしました。

- 柱1 地区の重点実践目標の反省と、今年度の重点実践目標の決定
- 柱2 家庭や地域の教育と活動の状況
- 柱3 子どもからお年寄りまで共に触れ合える活動について
- 柱4 小・中学校からの報告



▲東野ヶ里地区の懇談会の様子

1. 地区の重点実践目標の反省

昨年度の実践目標の反省では、「あいさつ・声かけ運動」については、約60%の地区でよくできているとの事でした。今後は、子どもも大人も元気な笑顔の挨拶が交わされるようにと、今年度に続き目標をレベルアップした地区もあるようです。

また、ラジオ体操に、地区の方の参加が増えてきているようです。

安全確認なしの急な飛び出しや、自転車の並進などがあり、交通マナー（ルール）を守ることにについてはもう一歩のようです。

2. 子どもからお年寄りまで共に触れ合える活動について

次のような活動を今年度実施することが話し合われました。

- ラジオ体操実施 (13地区)
- ふれあい夏祭り等 (8地区)
- あいさつ運動 (6地区)
- グランドゴルフ (5地区)
- クリン作戦 (5地区)
- 祇園祭、観音様祭、豆ちやごなど (5地区)
- 春祭り、秋祭り等の村祭り (5地区)
- 千灯ろう (4地区)
- 門松、しめ縄作り (4地区)
- 餅つき (4地区)
- レクリエーション、運動会、海水浴 (4地区)



- 通学路の、花の植栽、除草、肥料やり (3地区)
- 敬老会 (3地区)
- 地区全員参加の焼き肉会、バーベキュー会 (2地区)
- 公園の除草、清掃 (2地区)
- 地区行事への子ども参加 (2地区)

その他、1地区ずつ「進んで手伝い」「凧揚げ、わんぱく支援事業」「月1回空き缶拾い」「交通ルールを守る運動」「毎年恒例の世代交流会」「夕涼み会」「観月会」「御幸大祭への参加」「そうめん流し」「小中学生歓迎会」「子どもクラブの食事会」「地区の旅行」「秋の芋掘り」「しめ縄焼」「ラジオ体操後紙飛行機大会」「廃品回収」「皆で歩こう会(天山)」「ゲートボール」などがありました。

3. 今年度の懇談会の取り組みの成果や課題について

今年度は、市民会議の班長、各地区の青少年育成推進員にアンケートを書いていただきました。

①会の進行について

・よかった、まあまあよかった 約4分の3
 ・意見などあまり出なかった、少なかった 約4分の1

②司会者について

・青少年育成推進員 56%
 ・子どもクラブ育成会長 13%
 ・PTA地区役員 10%
 ・公民館長(神崎) 10%
 ・区長、その他 11%

③子どもの参加

・あった 85地区 70%
 ・なかった 36地区 30%
 ④工夫した点や改善への意見
 ○参加者を増やす工夫について
 ・自作の案内を配布し、放送で呼びかけた。(11地区)
 ・しかし、参加数の増加に結び付かなかった。(6地区)

・回覧、全戸配布、放送とともに区長、婦人会、地区役員が参加を促したので増加した。

地区子育て懇談会 出席率ベスト20

順番	地区名	出席率
1	曾根ヶ里	166.7
2	野寄	130.8
3	蔵戸	128.1
4	又南里	95.0
5	龍尾	84.6
6	柴尾	84.0
7	猪面	80.0
8	快楽	95.5
9	小鹿	95.0
10	大門	92.6
11	十条	88.9
12	神納	85.7
13	野田	83.3
14	山田	83.0
15	川寄	75.0
16	下板	73.0
17	上黒井	72.0
17	上六丁	72.0
19	池辺田	71.4
20	二子	70.3

- 懇談会の進行について
- ・司会を、地区のことをよく知っている推進員が行い、スムーズな進行ができた。
- ・子どもクラブの会長が行ったので、子ども、保護者の意見を引き出すことができた。
- ・あいさつについて事前にアンケートを実施し、懇談した。
- ・日ごろの生活態度について、子どもに発表してもらった。
- 改善への意見
- ・地区の大きさ、子どもの有無数に関係なく興味が持て、議論ができる話し合いの柱を。
- ・保護者に懇談の内容についてアンケートをとってみては。
- ・集会やイベントと抱き合わせで行っては。

4. まとめ

◆懇談会の運営について

事前に司会者を地区役員で話し合い適任とされる人をお願いしたり、会の持ち方を話し合ったり、事前にアンケートを配布してそれに基づいて懇談するなど懇談会の運営に工夫が生まれている。また、参加者を増やすために、チラシ配付の他、手分けして呼びかけたりしている。



◆子どもの参加について

子どもの参加は数人参加が多かったが、昨年より参加した地区が増え70%となっている。子どもが参加した地区の多くで子どもの発言があり、子どもたちが意見を出したりした。子どもの参加によって、会の雰囲気盛り上がりたり有意義な話し合いになったりしたとの回答や、子どもの参加をもっと呼びかけよう、子どもの意見発表を増やそうという回答も増えてきた。

◆子どもからお年寄りまで触れ合える活動について

多くの地区で、活動について話し合わせ実行計画が立てられた。



▲田道地区 大人も参加のラジオ体操

例えば、すでに行われている子どもクラブや老人クラブの行事に、互いの参加を呼び掛ける、大人のみ参加の地区行事に、子どもも参加させるといった取組や、大人や、老人クラブなども参加するラジオ体操の計画が決められたりした。

以上のことから、老人クラブと子どもクラブの交流を図ることや、グランドゴルフなど大人と子供が接触する機会を増やすことが進んできた。

一方、子どもが少数になった地区や、小中学生がいない地区などでの懇談会の持ち方についての工夫が課題となっている。

登校中は、たくさんの人に出会えます。自転車で登校する高校生、野菜や花に水を与えている人、毎朝横断歩道のところに立ってくださる方など、みんな、私が「おはようございます。」とあいさつすると、笑顔で「おはようございます。」と、あいさつを返してくれます。そうすると、私はすごく気持ちがよくなります。とても、うれしです。「寒いね。」とか、「気をつけて行ってらっしゃい。」とか、「頑張ってるね。」とか話しかけてきてくださる方もたくさんいて、いつも温かい気持ちになります。――中略――

地域のクリーン作戦には、小さい子から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、たくさんの方が集まって参加します。朝早い時間帯なのに、みんなが集まっていることにびっくりしました。みんなで拾うと、ゴミ拾いなのに、すごく楽しくて、あっというまにたくさんあつたごみが、なくなっていくきます。終わったらとても楽しいです。

――略――

平成22年度青少年の主張大会発表
千代田中1年 原口ちひろさん
「私が住みたい神崎市」から